

施策評価管理シート

2023(令和5)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	1	良好な地域環境づくり		
	施策	1	環境保全	地域環境部	吉岡 恵子

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 緑豊かな自然環境を大切に守り育て、人と自然が共生する潤いのあるまちづくりに取り組みます。
- 「なばり快適環境プラン」及びその実施計画に基づき、市民の環境保全意識の醸成に努めるとともに、市民・事業者・行政が協働して、環境保全に積極的に取り組みます。
- 清掃活動等の美化運動を市民ぐるみで展開するなど、身近な環境美化意識を醸成するとともに、ごみのポイ捨て防止などマナーやモラルの向上、不法投棄防止対策に取り組み、清潔で美しいまちづくりを目指します。

2. 令和4年度の実施内容及びその成果



- ・「名張クリーン大作戦」及び「名張市管理職職員等による美化行動」など恒例の美化活動について、実施方法の工夫など、コロナ感染予防を徹底しながら実施しました。クリーン大作戦では5,000人も市民が参加し、身近な環境美化意識の醸成が図られました。あわせて各地区・団体等が独自で実施している美化行動に対し、物品(ボランティア袋やかなばさみ等)の貸与により支援しました。
- ・市内の小学校や企業等からの依頼によりごみの出し方・分け方やチッパー車での破碎実演など11件の環境学習会を実施し、環境教育を推進しました。
- ・不法投棄の現場を発見・特定した場合は、警察に通報を行い、不法投棄の撤去や防止対策に向け連携した対応を行いました。あわせて定期的なパトロールを実施し不法投棄の未然防止に努め、快適な環境保全を図りました。
- ・環境保全協定を結んでいる事業所から計量証明書等により、水質・大気・振動・土壌汚染など適正な事業・公害防止対策についての情報を共有し、生活環境の保全を図りました。
- ・「名張市あき地の雑草等の除去に関する条例」に基づき、不良あき地の所有者に対して、適正な管理をするよう通知・指導等を実施し、さらには地域づくりと連携した啓発を行い、生活環境の保全を図りました。
- ・「名張市太陽光発電設備の設置に係る手続に関する条例」に基づき、太陽光発電事業を実施する事業者の把握を行い、届出を受理し、災害の防止、良好な景観、自然環境及び生活環境の保全を図りました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
清掃活動や自然保護活動により、名張市の環境が良くなっていると感じる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	71.0	63.0%
	成果	66.4	68.8	67.8	69.5	67.9	69.3	
環境教育の推進(回)	目標	-	-	-	-	-	16	0.0%
	成果	15	11	12	7	8	11	
地域づくり組織や市民公益活動団体等と協働で行う美化活動の参加者数(人)	目標	-	-	-	-	-	6,000	0.0%
	成果	5,290	4,928	4,999	0	3,658	5,000	

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・環境美化意識の醸成を進めるには、長期かつ継続した取組が必要です。また地域独自の清掃活動の継続には、ごみ袋の提供やごみの受け入れなど、行政的な支援が必要と考えます。
- ・環境学習会については、小中学校や地域づくり組織が中心となっていますが、さらなる対象の広がりを働きかける余地があると考えます。
- ・あき地の雑草等の除去については、土地所有者に依るところが大きいです。しかしながら遠方であることや経済的な厳しさからなど管理が困難な土地所有者が多くいます。
- ・あき地の雑草等の除去における行政代執行の実施については、適正・適確な手続きが求められることから、改めて運用上の整理を行う必要があります。
- ・太陽光発電設備が市民の不安を与える事例もみられ、事業所による地元住民に対する丁寧な対応を引き続き指導する必要があります。

5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の取組内容(令和5年度以降)



- ・市民、事業者、行政が一体となり清掃・美化行動を実践するとともに、名張クリーン大作戦やその他環境美化行動の機運を高め、清潔で美しいまちづくりを目指します。
- ・環境学習においては、学校や地域づくり組織を中心にごみ問題など身近な環境についての啓発を行っています。今後は、カーボンニュートラルや食品ロスの削減、海洋漂着ごみの問題などにもテーマを広げ、市民への更なる啓発を目指します。
- ・あき地の所有者に対して適切な通知・指導を行うことで、市民が快適に暮らせる環境づくりを目指します。また、不適正な管理が行われているあき地については、地域づくり組織との連携による啓発、点検化を行う仕組みづくりなどを行い、公平公正な指導を行います。
- ・「名張市太陽光発電設備の設置に係る手続に関する条例」については、事務の手引きなどを作成し、現地確認や地域住民への説明の実施確認などを徹底します。また、地域づくり組織などと連携し、新設事業者の把握にも努めます。

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち 一般財源
一般	環境衛生費	地域環境部	環境対策室	<p>飼い主不明の死亡した犬の処理のほか、狂犬病予防法に基づき犬の予防接種、犬の登録管理を行いました。また、空き地所有者に対して適正管理の指導を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬の登録 315件 ・狂犬病予防注射 3,409件 ・迷い犬一時保護 1件 ・蜂の防護服貸出 26件 ・あき地雑草対策状況調査委託 1,634件 6月通知発送1,484件、条例に基づく文書発送82件、対応件数1,393件（606区画） ・特定外来生物駆除 2件 ・死亡した小動物の処理 59件 ・太陽光発電設備届出 事業計画届出 17件 既設置届 4件 	3,112	727
一般	環境対策一般経費	地域環境部	環境対策室	<p>市民、事業所、行政全体でCO2の削減や省エネルギーの啓発を行いました。また、環境施策の推進・啓発を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通騒音常時監視業務、大気水質等の環境調査 ・急速充電器保守点検委託 286千円 ・行事での啓発物の展示（やなせ宿等） ・簡易水質調査（任意） 12回 ・地球温暖化対策（エコ通勤、クールビズ・ウォームビズ） 	2,358	2,072
一般	環境保全型農業直接支援対策事業	産業部	農林資源室	<p>環境保全の効果の高い営農活動を行う農業者等に対し支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうき伊賀の里 4人 ・伊賀有機農業推進協議会 3人 	1,403	346